

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2016年(平成28年)10月1日 第112号

『職員のやる気スイッチ』を探せ

事務部長 堀井 由高



朝夕、めっきり涼しくなりました。芸術・読書・食欲と、過ごし易い季節ではありますが、どこことなくの哀しく、ジリジリと照りつける夏の太陽が懐かしくも感じます。夏の疲れを持ち越さぬよう体調管理には十分ご留意下さい。

さて、今年の5月から来年1月までの9ヵ月間、日本医療経営機構の経営人材育成研修に参加しています。全国の病院から、医師・看護・技術・事務等、様々な職位職種の二十数名が、毎回異なる様々なケーススタディーテーマに対してレポートを提出、PC上で夫々の考えや、悩み・問題点を共有し意見交換をするスタイルの実践研修です。

テーマは、人事制度改革、組織運営管理の再構築、組織風土の変革、会計財務等様々ですが、直近教材は、人口6万人・216床の市立総合病院の実例ケースでした。昭和54年から12年連続赤字、平成3年の累積不良債務25億円、全国自治体病院最下位で自治省(現総務省)から病院廃止勧告まで受ける状況の中、「私たちの病院をどう思うか。」を問う全職員対象の意識調査の結果は、「自分たちは精一杯頑張っており他の人たちが悪い」というものでした。

病院再生の為に立ち上がった新病院長は、1.意識の覚醒、2.全体の最適化、3.経営の安定なくして良質な医療なし、という的確且つ分かり易いスローガンを掲げ、具体的には、理念の制定、職種横断的なPJチームの組成、目標発表会、全職員総出の年数回の院内外清掃実施、こんな医師はいらない8ヵ条行動指針制定等の改革を推進しました。

全員が一つの方向に向かい全職員による病院運営に係る取組みをする中で、各経営指標が上向き、着実に地域の評判が向上。「やればできる⇒もっと頑張ろう」へのサイクルの好循環が生まれたものと考えられます。

結局、既存概念や従来の思考の踏襲が、如何に楽で心地よい一方、各経営資源を毀損させているか。また、意識改革(覚醒)や新しい発想、全員のベクトルを一にする事が如何に重要か。という事がよく理解できます。

『やる気スイッチ』とは、目の前に人参や飴をぶら下げる事ではなく、①新しいものへのチャレンジ、②皆で汗をかく、③ポジティブ思考、④自らが職場や地域に貢献しているという自負。そんな所に潜んでいるような気がします。

当院では、①人事評価制度での革新目標の評価、②組織改変・新部署の立上げと責任委譲、③病棟構成検討、各種ランクアップPJ委員会や体制見直しワークアウトの設置と若手職員のメンバー選出、④中北部地域包括支援センターや看護小規模多機能型居宅介護等の新事業の展開、等々を通して『やる気スイッチ』を提供しています。

当研修のコメントターは、こうも言及されています。①誠意と熱意、努力と責任、実行と決断、粘りと持続、公平性と透明性、このような強靱な精神の作用が『経営』である。②経営にとって最も大切なのは、経営の意思であり、事業への執念『当事者意識』である。まさしく事業は自分自身であるという命懸けの姿勢である。③イエスマンは、企業を殺し、最後に自分の場所も失う。

僭越乍ら、部長職の末席を汚している身として、①活気溢れる職場環境、②地域になくてはならない存在感のある病院、③勝つ味を分かち合える病院、の創造を自分自身の『やる気スイッチ』と心得、自己研鑽と意識改革に邁進していく所存です。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

あなたがたの父が憐れみ深いように、
あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。

新約聖書 ルカによる福音書 6章36節



チャプレン 安部 勉

今月の聖句は一つの段落のまとめにイエス様が語られた言葉です。イエス様は段落の冒頭で人々に向かって次のように言われました。

「敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にいなさい。」

「敵を愛せ」という表現を聞いたことがある方もいるでしょう。それがキリスト教の一つの代名詞のように。この言葉、「そうは言っても…」と不可能なことであると受け止めるものです。最近「ヘイトクライム」という言葉をお聞きになった方があるかもしれません。日本語に訳せば「憎しみが原因の犯罪」でしょうか。それは「あなたがそこにいることが憎らしい」との思いからの犯罪です。個人的なトラブルではなく自分と違った人種や宗教など「属性」自体への「憎しみ」です。その根底には自分の存在が報われない苦しみと怒りから自分と違う属性の他者を蔑み、エスカレートして犯罪となっていくのです。敵を作り憎む思いはすぐに湧くものです。一方、「敵を愛する」とはどれほど難しいことでしょうか。

憎しみと怒りは「連鎖」します。今、世界はそのただ中にあると言っても過言ではありません。これからも簡単にこの「負の連鎖」が断ち切られる様子はありません。

また、イエス様は「敵を愛しなさい」と言われた他に「あなたの頬を打つ者には、もう一方の頬を向けなさい」など「理不尽」と思われるような態度を取りなさいと命じます。

その命令に従う者だけがイエス様から救われるのであれば、裁きから逃れることができるならば誰一

人、イエス様から救われる者はないでしょう。

イエス様は「父が憐れみ深い方」である、と言われます。神は「憐れみの神」であると。「憐れみ」とは聖書が書かれたギリシヤ語から訳すると「思いやる」という意味です。「思いやる」という事は私は「私たちと一緒に苦しむ」と理解します。

イエス様は私たちにはできないと思われる命令を示しましたが、それは神ご自身が私たちと共に向き合う姿勢そのものです。

「憐れみ深い者となる」とは、苦しみや怒り、憎しみを向ける人の背景にどのような人生があったのだらうと思いを巡らすことかもしれません。思い巡らす中に「孤独」や「悲しみ」があったことを感じるかもしれません。暴力や怒りをぶつける人の気持ちに共感することは難しいことでしょうか。そのことで赦せるものではないでしょう。でも神さまからみて怒りや憎しみに囚われている人もその怒りや憎しみに傷つく人の苦しみを自分のこととして身に受ける方なのだ、と。それが「憐れみ深い神」なのだ。

憐れみ深い神は私たちをみな「救いたい」との思いであられます。憎しみと怒りの連鎖に囚われている私たち。今この時も神さまは嘆きと悲しみの中にあるすべての人々の思いに寄り添ってくださっています。

神さまの「憐れみ」に出会った時、憎しみや怒りはきっといつか「赦し」と「和解」へと導かれるでしょう。優しさの中に、愛の中に「平和」は築かれていくのです。

在宅サービス部門だより

メディカルフィットネスセンターヴォーリズ 久保大志

メディカルフィットネスセンターヴォーリズは本年6月で設立10周年を迎える事が出来ました。沢山の皆さまに支えられながら10年の節目を迎えられた事に感謝しながら日々の業務が出来ることを嬉しく感じております。

この10年の間にスタッフの入れ替わり、慶弔事、事業所移転など色々な事がありました。人それぞれの時間感覚の尺度はあるとは思いますが、「あの時の出来事はずいぶん昔と感しても最近の事。」とか「あの出来事はつい最近だったと感しても実は何年も以前の出来事。」など記憶の中で織り交ざりながら10年の思い出となっています。

時代の流れと共に法律や制度改正により当センターも方向性を決めるための重要な選択を迫られる

事もありました。プレッシャーを感じて「もー、勘弁してくれ〜!!」と心の中で叫んでいる時、そのたびに頼りになるのは『人』でした。病院の先輩、同僚、そしてお客様。ひとりの力では立ち行かない案件に手を差し伸べてもらえ、力を貸してもらえ、励ましてもらえる。ひとりの頭では問題解決が出来ない時に、自分以外の『人』の知恵や技術を使わせてもらえる環境が当院にはあります。さらに当フィットネスセンターには沢山の利用者様がおります。我々よりも人生経験が豊富な諸先輩方には今後も知恵をお借りする事が多々あるかもしれません。この文章を読まれている皆さま、「すいませーん、ちょっと教えて!!」と我々が質問したらその時はいつものように知恵をお貸しくさいます。

ヘルシークッキング 10月

さんまの蒲焼 『さんま』



エネルギー 320kcal タンパク質 13.5g 脂質 22.2g (2人分)

★材料

- ・さんま ×2尾
- ・片栗粉 適量



【A】

- ・醤油 大さじ2杯
- ・みりん 大さじ2杯
- ・砂糖 大さじ1/2杯
- ・生姜汁 大さじ1/2杯



★作り方

- ①さんまを三枚おろしにして片栗粉を振っておきます。
- ②【A】の調味料を合わせておきます。
- ③さんまをフライパンで焼いて取り出します。
- ④同じフライパンで油を拭き取り、【A】の調味料を煮たててからさんまを戻して絡めて完成です。



暑い夏も終わり、秋も深まってきました。秋の味覚と言えば「さんま」ですね。さんまは江戸時代から大衆魚として親しまれてきました。特に10月のさんまは脂ののりも良く、旨味が強いのが特徴です。しかし、さんまは味わいだけで無く、江戸時代には「さんまがでるとあんま（「なで」、「さする」といった手技により治療を行う者。当時は有効な外科治療の一環として行われていた。）が引っ込む。」と言われた程、栄養面においても優れた食材です。

有名なところではEPAやDHAが挙げられます。EPA・DHA共に血中のコレステロー

ルを抑え、血流を良くして動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞の予防に効果があります。他にも皮膚や粘膜、目の健康に良いビタミンA、骨の素になるカルシウムとその吸収を助けるビタミンD、貧血の予防になる鉄など様々な栄養素を摂ることができます。

今回はシンプルな味付けで簡単につくれるさんまの蒲焼を紹介させて頂きました。秋の味覚「さんま」、定番の塩焼きも良いですがいつもと違った味付けで召し上がってみてはいかがでしょうか？

健康について

外来 二村 万寿美

私は今年4月に、急な入院を経験しました。驚きと不安で始まった入院生活を、身近で癒してくれたのが同室者の方でした。

退院日と信じ、消灯まで家族の迎えを待っておられた方。入院中に仲良くなられ、お互いの退院を喜び合い「また、お会いしましょう」と言葉を交わされている方。医師からの治療計画を家族に説明し、一時退院される方。どうして入院しているのかと繰り返し聞かれ、何度も説明してもらわれている方。医師とは日本語で会話されても、日本人のご主人とはフランス語で

話され、その優しい言葉の響きはまるで異国にいるかの様でした。

挨拶程度、又はカーテンで仕切られ顔も合わされないままでしたが、入院中も時は流れ、それぞれの出会いと別れがあり、人生を歩まれているのだと実感しました。今回、家族やスタッフにはご迷惑とご心配をおかけしましたが、自分や周りの方の健康について改めて考え、今後に生かしていきたいと思えます。



“院内ウォーク～チーム医療を知るために～”に参加して

ホスピス 吉岡 尚央子

9月9日、院内ウォーク他部署体験に行き、まず部署の多さに驚きました。又、それぞれの部署の特色や役割を知り、患者さん、その家族、地域の方々に支えるために、どの部署も欠けることなく連携を

とることの大切さを学ぶことができました。今回学んだ部署の連携の大切さ、自分も患者さんを支える一員であることを思いながら、今後仕事をしていきたいと思います。

病院内部署体験を受けて、まず沢山の部署があることを初めて知り、驚きました。リハビリテーション室で過ごす時間がほとんどであるため、様々な部署を回り業務内容を知ることが貴重な体験になりました。

この体験で私が一番重要であると感じた点は、チーム医療についてです。チーム医療とは、医療専門職が互いに対等に連携して治療やケアに当たることによって患者様中心の医療を実現しようと言うものです。ヴォーリズ記念病院は患者サービス第一を原則とし、親切で親身な医療サービスを実践するといった

平成28年4月より地域医療課に入職させていただき半年が経ちました。

日頃は、地域医療課において、患者様が安心して治療を受けていただけるよう医療、福祉に関する疑問や心配事などの相談に応じています。また、疾病を抱えていても自宅等の住み慣れた生活の場で療養し自分らしい生活が続けられるために地域における医療、介護の関係機関と連携して、在宅医療・介護への支援を行っています。

今回、教育委員会研修会「院内ウォーク」に参加して、普段は関わりの少ない部署の見学や説明をし

ヴォーリズ記念病院に入職し、約4年が経ちました。最初は、数時間の外来検査科受付として入職、一年後、午後から総務課を兼務し、また一年後、企画渉外課へ、そして今年4月より現在の経営企画室へ常勤として勤務させて頂きました。本来は、新入職者対象の研修ではありましたが、常勤職員1年生として参加させて頂きました。

日頃より関わりのある部署もありましたが、丸1日かけて全部署回って説明を受けると、今まで全く見えなかった沢山の工夫や努力を、それぞれの部署でされていること、また、どの部署が欠けても病院

リハビリテーション科 陶山 奈央

基本理念を掲げています。様々な職種の医療専門職が連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで入院中や外来通院中の患者様の生活の質の維持・向上につながりすべての患者様により良い医療を提供出来るのではないかと感じました。

私は理学療法士として患者様の日々の頑張りはもちろんのこと、様々な部署の方々が業務を全うしているからこそ素晴らしい環境で働けているのだと感じました。これから患者様のため、またヴォーリズ記念病院のために私に出来る事を改めて探求し、日々精進していきたいと思います。

地域医療課 小原 貴子

ていただき業務について知ることが出来ました。関わりがある部署についてもあらためて業務内容を説明していただくことにより、より詳しく業務内容を知ることが出来ました。各部署を訪問させていただき、皆さんが患者様を支える為に入院から退院までや在宅で生活するために一丸となって、それぞれの役割を果たされていると感じました。

私もこのように地域に根ざしたヴォーリズ記念病院の一員として、患者様の支えとなれるような職員になれるよう努力して参りたいと考えています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

経営企画室 永福 喜美江

の機能が完全に果たせないことを知りました。各部署の現場レベルでないと気づかない職務への気遣いから、大きな責任と誇りをもって、皆さん勤務されておられることに改めて感動を覚えました。経営企画室は、患者さんと直接接しませんが、自分にできることは何かを考え、それが患者さんと接している職員さんに、そして、最終は、患者さんや地域の皆さんに繋がることを意識して、これからの業務にあたりたいと思いました。沢山の気づきに出会えた貴重な1日でした。忙しい中、研修に関わって下さった皆さん、ありがとうございました。

報告2 第241回 ミュージックタイム

さる2016年8月27日、「第241回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は山本厚志さん、節子さんご夫妻のピアノとフルートの演奏を皆さんと楽しみました。

心に優しく響く音色、
夏の暑さの中、
清々しい一時
でした。



健康生活について「出前講座」のご案内 ～ヴォーリス記念病院～

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。
また、この講座を地域で開催することにより、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めたいと思っています。ぜひご利用ください。

ヴォーリス記念病院では下記の講座を実施しております。



お聞きになりたいと思われる病気(生活習慣病関連・感染性疾患、インフルエンザや消化器疾患、脳疾患、がんなど)について医師からの話



ホスピスについて、緩和医療や在宅看取りなど医師や緩和認定看護師、訪問看護師などからの話



リハビリ療法士の体操や看護師・栄養士・薬剤師などからの話



自宅で療養を継続させる為のサービスの具体的な内容などについて、訪問看護やホームヘルパーやケアマネージャーからの話

◆対象：近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施しておりません。

◆費用：無料です。

◆開催日時：日、祝日を除く、9時から17時まで。

◆申し込み方法：電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。

開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。

業務の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL：0748-32-5211(代表)
◎ホームページでもご覧いただけます。 FAX：0748-32-2152
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで

ヴォーリス記念病院ホスピス希望館 10周年記念講演会

平成28年
10/23(日)

開演14:00
(開場13:00)

会場：G-NETしが

(近江八幡駅南口から徒歩10分)

※託児所あり(0歳～未就学児まで)

入場料：500円

(当日会場で申し受けます)

■第1部

- ・コンサート 演奏：室内アンサンブル「ノアノア」
- ・スライド上映「ホスピス希望館10年のあゆみ」



柏木 哲夫先生

■第2部

- ・記念講演
「ホスピス緩和ケアの原点～支えること、寄りそうこと～」
演者：淀川キリスト教病院理事長 柏木 哲夫先生
- ・鼎談「ヴォーリスホスピスが取り組むいのちのケア」
登壇者：柏木哲夫先生、ホスピス長 細井順、看護部長 岡田幸子

▶お申し込みは、FAXでのお申し込みになります。

受付は9月1日(木)からです。

当院ホームページからFAX用紙をダウンロードし、必要事項をご記入ください。

FAX：0748-32-2152

▶又は、FAX申し込み用紙が病院にあります。

<お問い合わせ> TEL：0748-32-5211(代表)

担当：西山

(ホスピス開設10周年記念講演会実行委員会)

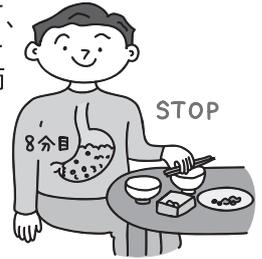


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 **10月20日(木)** 12:00~13:30 場所 **新館研修室(病院内)**
講師 **理学療法士**

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
4	11月17日(木) 14:00~16:00	「認知症の予防(運動編)」 (仮)	ヴォーリス記念病院 作業療法士 宮本 優子 氏
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 4回目11月14日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にございます。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”

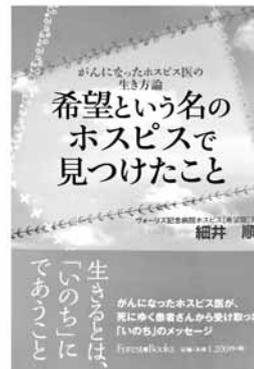


詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当:澤谷)

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス[希望館]長 細井順先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医事課受付にてお問い合わせ下さい。

メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体力づくり 病後の方は体力回復
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日	
9:30~	デイ	市委託	○	デイ	市委託	—	—	利用料金 入会金 3,750円
12:00	—	—	—	—	—	—	—	月会費 週3回以上 8,208円
13:30~	○	○	デイ	○	○	—	—	週2回 5,400円
17:00	○	○	—	—	—	—	—	週1回 3,024円
17:30~	—	—	—	—	○	—	—	
20:00	—	—	—	—	—	—	—	

※デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日 土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541